

基本方針				取組	実 施 時 期													
柱	方向性	取組内容	目指す姿	具体的行動	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	中期	長期
2 子 ど も の 主 体 性 を 育 て ま す	子どもの 主体性を 育む授業 へ転換し ます	主体的・対話的で深い 学びの教育を進め ます	友達の意見を大事にし ながら、主体的に 課題解決に取り組む 子ども	主体的・対話的で深い学びをふまえた校内 授業研究を実施します。 日々の学習活動で合意形成を図る話し合い の場の充実を図ります。	授業研		授業研				授業研	授業研	授業研	授業研			継続	継続
	子どもが 参画する 学校づく りを行い ます	委員会活動は子ども 主体で行います	集団への一員である ことに対する自覚を 高め、人と人とのふ れあいやつながりを 深める子ども	委員会活動で学校における諸問題について 考え、委員会主催の行事については児童生 徒が主体となって話し合い、実施します。			会議	会議		会議	会議	会議	会議 行事	会議	会議 行事		継続	継続
	児童生徒 会を活性 化します	たてわりグループ活 動を通して、学校の 一員としての意識を 育みます	よりよい学校づくりに 協力して取り組む 子ども	全校集会で、各グループ（委員会）で取り 組んだことを発表します。また全校集会 で、児童生徒の誕生日を祝います。	創意工夫のある常時活動				創意工夫のある常時活動									
4 チ ー ム 学 校 で 取 り 組 み ま す	学校の組 織対応力 を向上さ せます	教師がＳＯＳを出せる 教師集団を作ります	同僚性を高め、互いに 信頼し合える職員	学部やクラスの枠を超えて相談できる場や チームで対応できる体制の充実を図ります。					討議					討議			継続	継続
		多職種連携を推進し ます	互いの専門性を信頼し、 連携できる学校組織	各担当がそれぞれの専門性を活かしてケース会議を 行い、適宜ＳＣ、ＳＳＷ、関係機関とも連携を図っ ていきます。	ケース会 議													
	子どもを 育む地域 や関係機 関との連 携を行い ます	地域ぐるみで子ども を見守ります	情報を発信し、家庭・ 地域に開かれた学校	学校評議員会、青少年育成市民会議等で、学校の様 子を説明し、地域で子どもを育むことの協力を求め ます。			運営協議 会					運営協議 会				運営協議 会	継続	継続
		保育所・幼稚園・小 中たからづか支援学 校の連携を強化しま す	中学校区における目 指す子ども像の実現 に向けた教育の連携 を推進する保幼小中 たからづか支援学校 園所	中学校区の子どもの実態等の情報交換を行 い、いじめに対する学校の指導体制・指導 内容の充実を図ります。				連携会議					連携会議			連携会議 引継会	継続	継続
		関係機関との連携を 図ります	関係機関と情報を共有 し、迅速に対応できる 学校組織	学校の各ケースについて、常に家庭児童相談室、青 少年センター等と組織的に連携を図ります。	連携													
罰 5 及 び 子 ど も に 対 す る ハ ラ ス メ ン ト を 体 根 絶 し ま す	体罰を根 絶します	体罰の禁止を徹底し ます	子ども一人ひとりの人 権を守ることに徹する 職員	体罰・ハラスメントの根絶に向けた事例研 修を実施したり、定期的 に人権チェックを行っ たりして、職員の人権意 識を高めます。	学校通信 全校集会 研修			研修				研修					継続	継続
	あらゆる ハラスメ ントを根 絶します	あらゆるハラスメン トを根絶します			学校通信 全校集会 研修			研修				研修					継続	継続